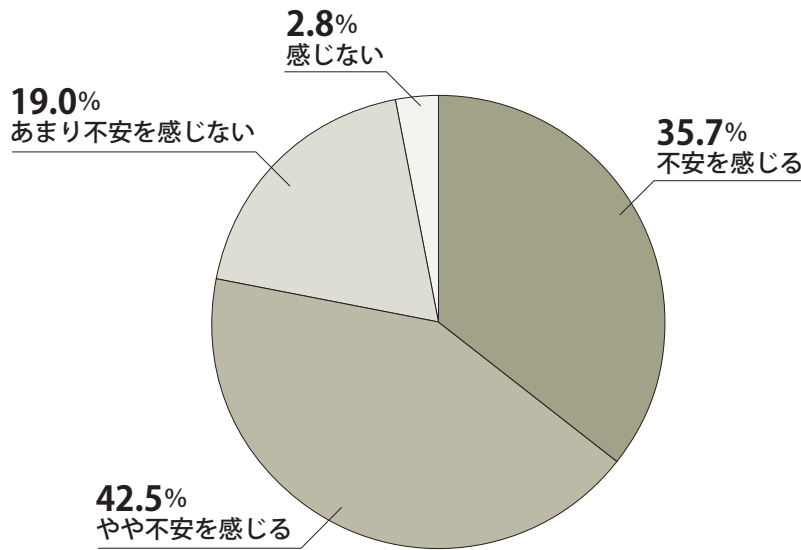




10年後の生活に不安を感じる人が約8割

10年後の生活について、不安を感じることはありますか。



10年後の生活に不安を感じるかどうかを尋ねたところ、回答者全体の約8割が10年後の生活に「不安を感じる」「やや不安を感じる」と回答。「不安」を抱える人の多さが浮き彫りになった。

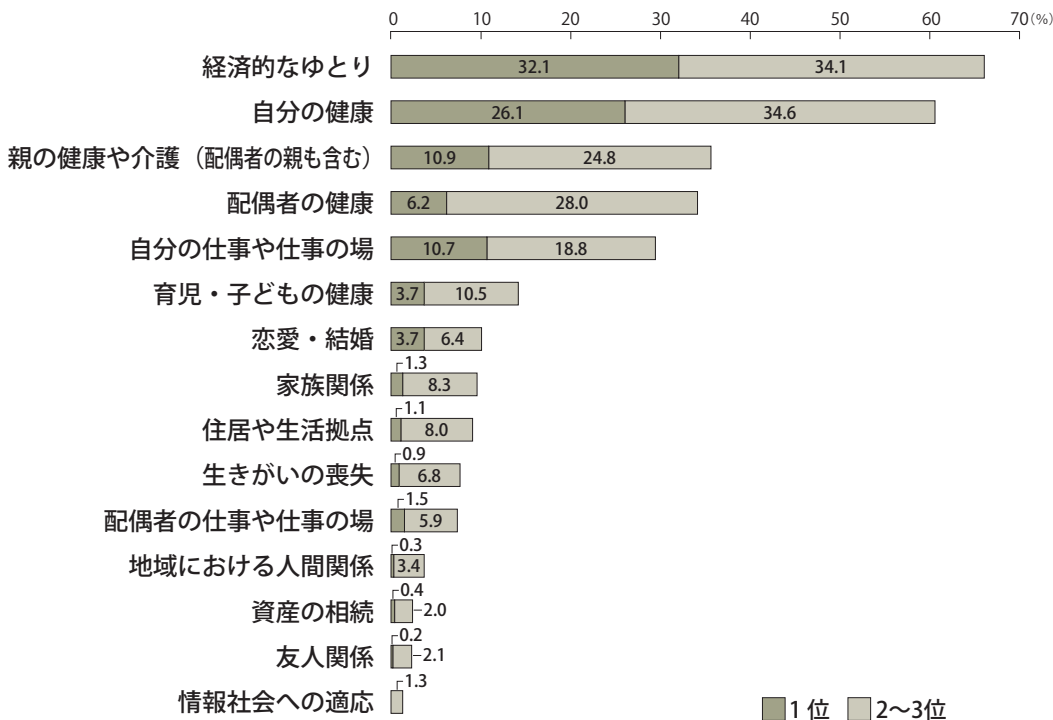
10年後の生活

をイメージする

不安要素は「お金」と「健康」

不安を感じることは、どのようなことですか。

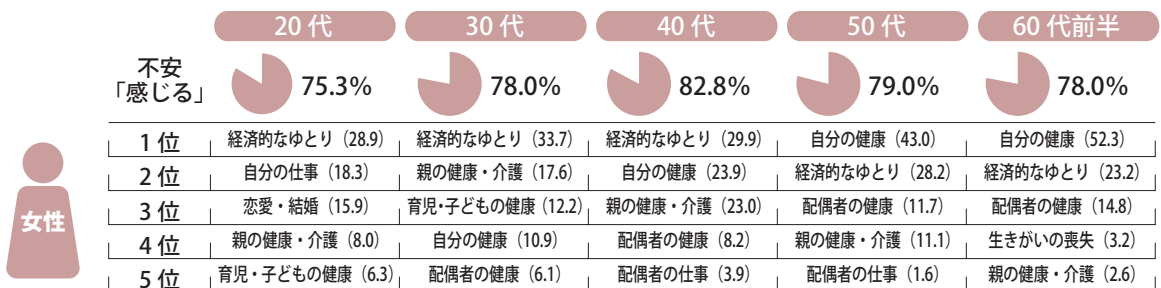
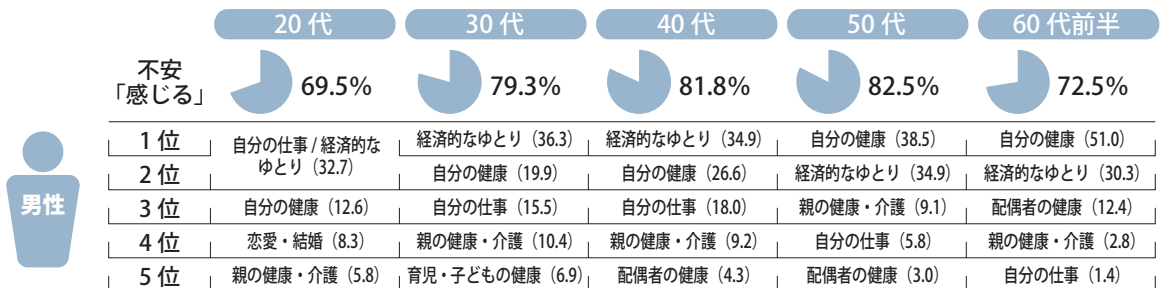
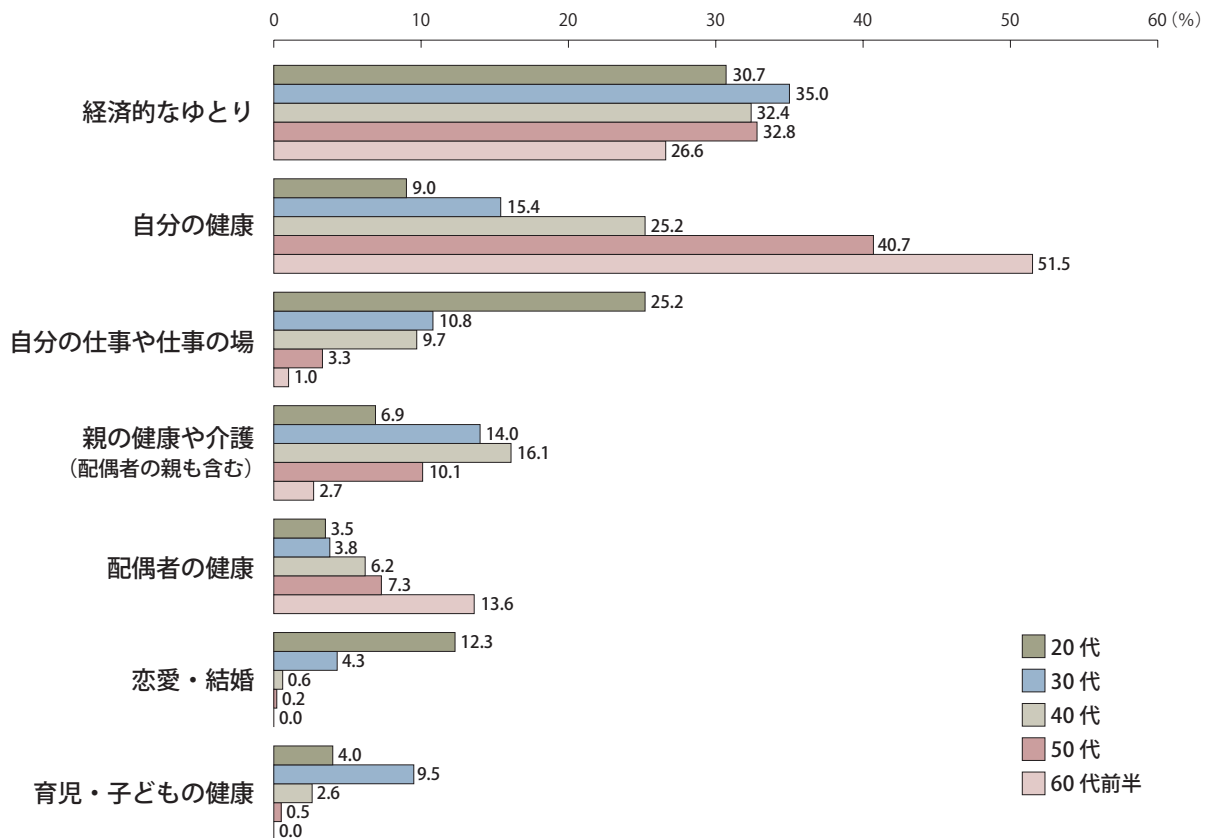
〈「不安を感じる」「やや不安を感じる」と答えた回答者のみ〉



不安の理由としては「経済的なゆとり」と「自分の健康」が全体の6割以上で挙げられ、これに「親の健康や介護」「配偶者の健康」が続く。「最も不安なこと」として「自分の仕事や仕事の間」を不安の第1位に挙げる回答者も約1割を占めている。

不安

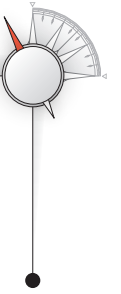
ライフステージによって異なる「不安」の理由



※不安「感じる」=10年後の生活に「不安を感じる」「やや不安を感じる」とした回答者の割合

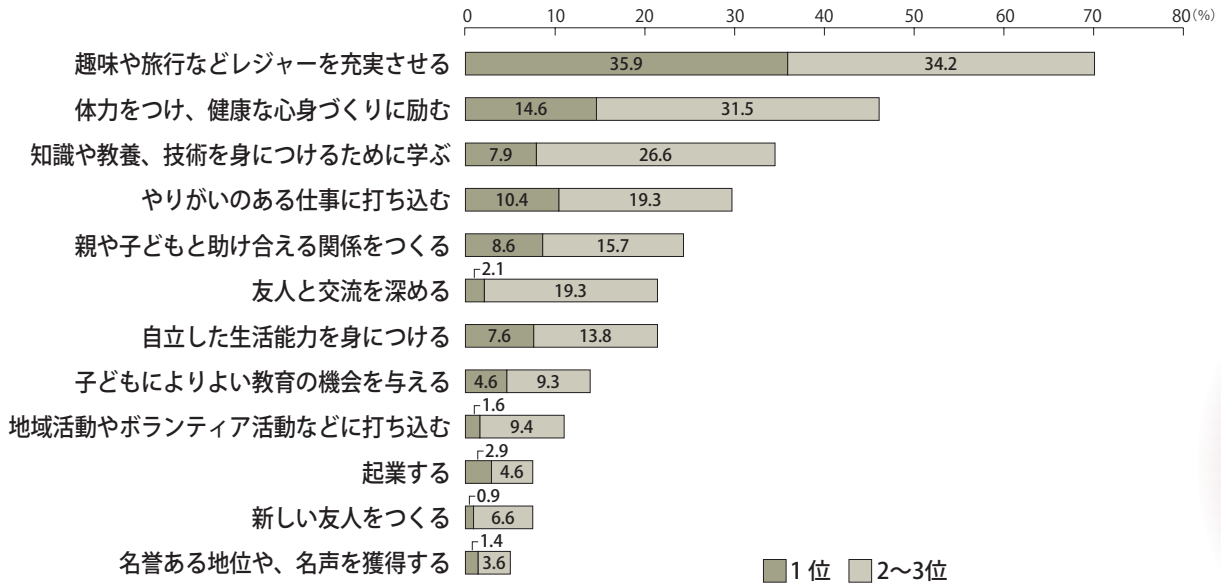
不安の理由の第1位について年代間で比較すると、「自分の健康」「配偶者の健康」といった「健康」に関わる不安を挙げる回答者は年齢が高いほど多く、「自分の仕事や仕事の場」を挙げる回答者は年齢が若いほど多い。また、「恋愛・結婚」は20代、「育児・子どもの教育」は30代、「親の健康や介護」は30～40代で多く、ライフステージによって不安の理由が異なることがわかる。

「不安を感じる」「やや不安を感じる」とした回答者の割合は男女とも20代で最も低く、男性は50代、女性は40代で最も高くなっている。



「レジャー」「健康」「学び」に関心

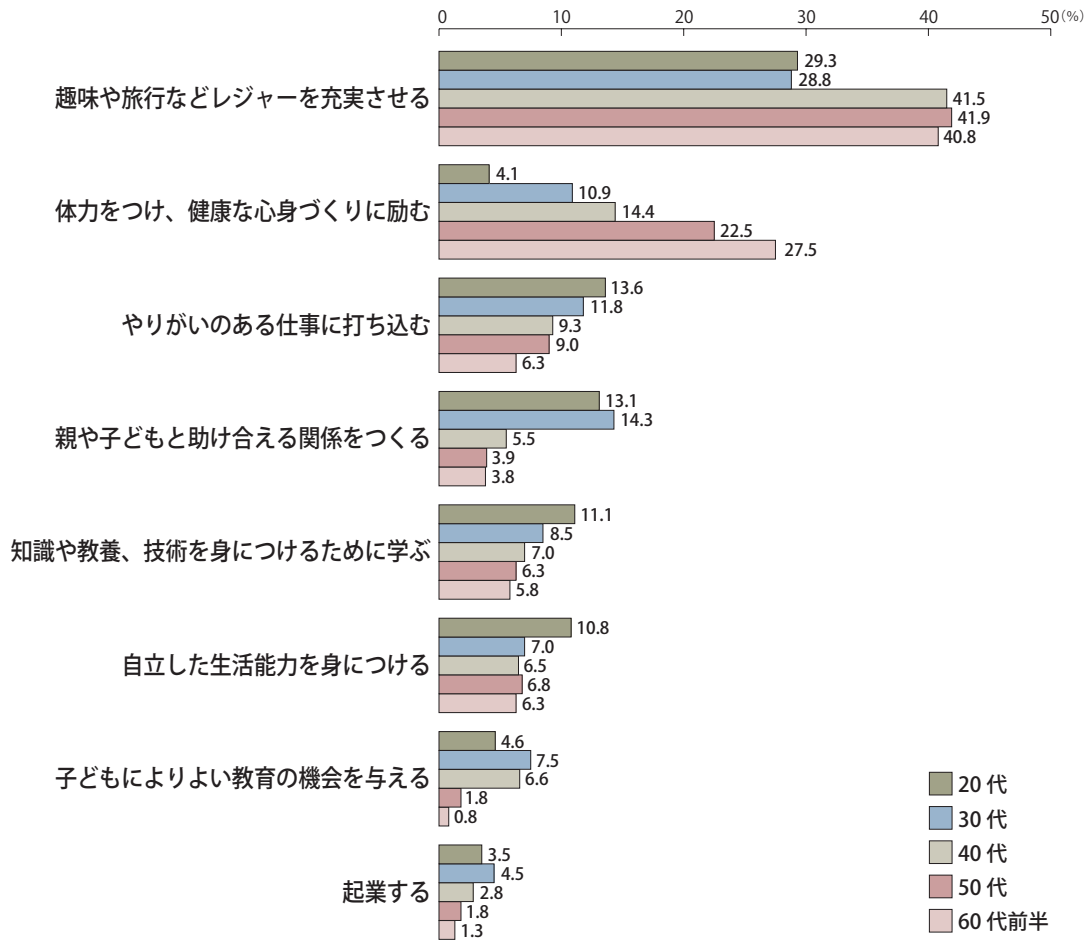
あなたが今後10年の間に「～したい」「～できたらいいな」と思っていることは何ですか。



「今後10年の間にやりたいこと」は、「趣味や旅行などレジャーを充実させる」が最も多く、回答者全体の7割に挙げられている。これに「体力をつけ、健康な心身づくりに励む」「知識や教養、技術を身につけるために学ぶ」「やりがいのある仕事に打ち込む」「親や子どもと助け合える関係をつくる」が続く。

やりたいこと

年代間で共通する「趣味やレジャーの充実」希望



「やりたいこと」1位に挙げられたものについて年代別に見ると、「趣味や旅行などレジャーを充実させる」「体力をつけ、健康な心身づくりに励む」を希望する割合は年齢が高いほど高く、「やりがいのある仕事に打ち込む」は若いほど高い。また、「知識や教養、技術を得るために学ぶ」「自立した生活能力を身につける」は20代、「親や子どもと助け合える関係をつくる」「子どもによりよい教育の機会を与える」は30代で希望が多い。

	20代	30代	40代	50代	60代前半
男性					
1位	趣味やレジャー(31.3)	趣味やレジャー(33.3)	趣味やレジャー(45.3)	趣味やレジャー(42.0)	趣味やレジャー(43.0)
2位	仕事(17.5)	仕事(16.5)	仕事(11.5)	健康な心身(18.5)	健康な心身(24.0)
3位	学ぶ(12.8)	親子関係(10.0)	健康な心身(8.0)	仕事(12.3)	仕事(8.5)
4位	自立(9.8)	健康な心身(8.0)	学ぶ(7.5)	学ぶ/自立(6.8)	自立(7.0)
5位	親子関係(6.5)	起業(7.8)	自立(5.8)		学ぶ(6.0)

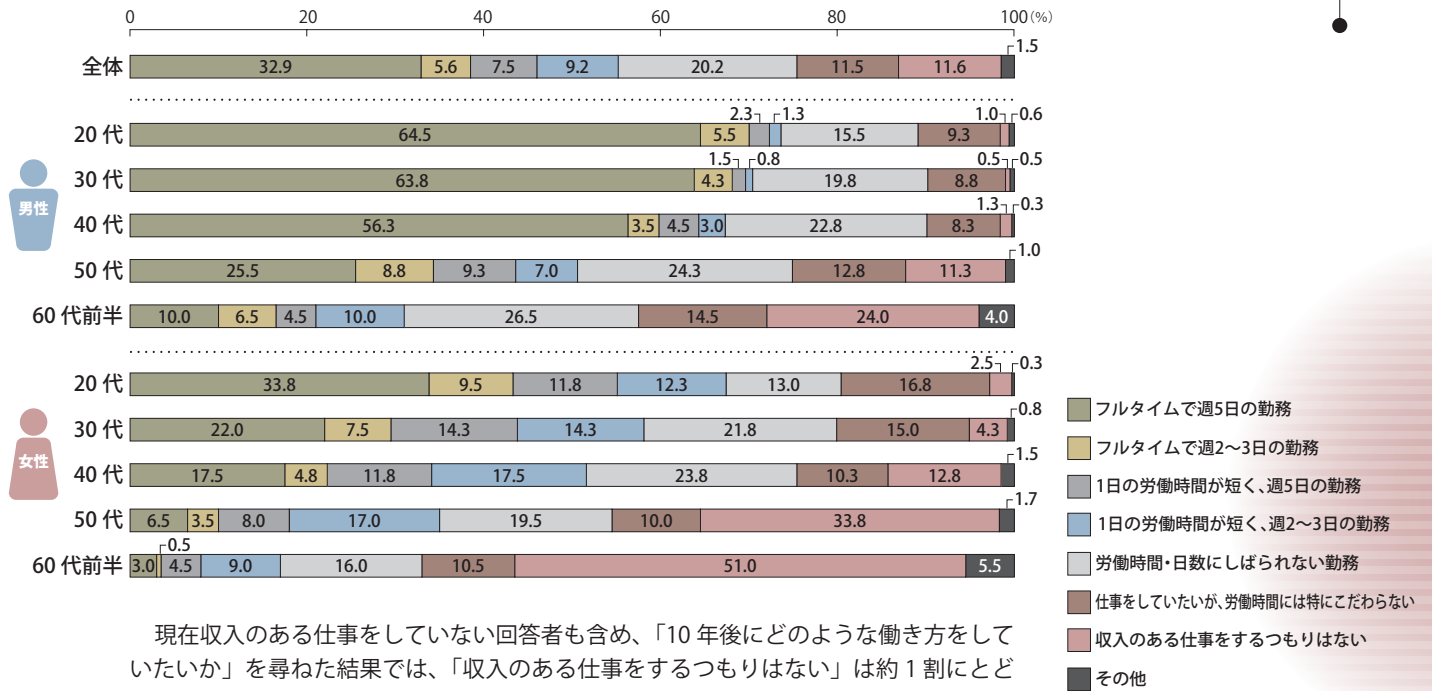
	20代	30代	40代	50代	60代前半
女性					
1位	趣味やレジャー(27.3)	趣味やレジャー(24.3)	趣味やレジャー(37.8)	趣味やレジャー(41.8)	趣味やレジャー(38.5)
2位	親子関係(19.8)	親子関係(18.5)	健康な心身(20.8)	健康な心身(26.5)	健康な心身(31.0)
3位	自立(11.8)	健康な心身(13.8)	子どもの教育(8.5)	自立(6.8)	学ぶ/自立(5.5)
4位	仕事(9.8)	子どもの教育(9.8)	自立(7.3)	仕事/親子関係/学ぶ(5.8)	
5位	学ぶ(9.5)	学ぶ(9.5)	仕事(7.0)		親子関係(4.5)

1位は男女ともすべての年代で「趣味や旅行などレジャーを充実させる」。これに男性では「やりがいのある仕事に打ち込む」「体力をつけ、健康な心身づくりに励む」、女性では「親や子どもと助け合える関係をつくる」「体力をつけ、健康な心身づくりに励む」が続く。



「フルタイム」とは限らない、10年後の働き方

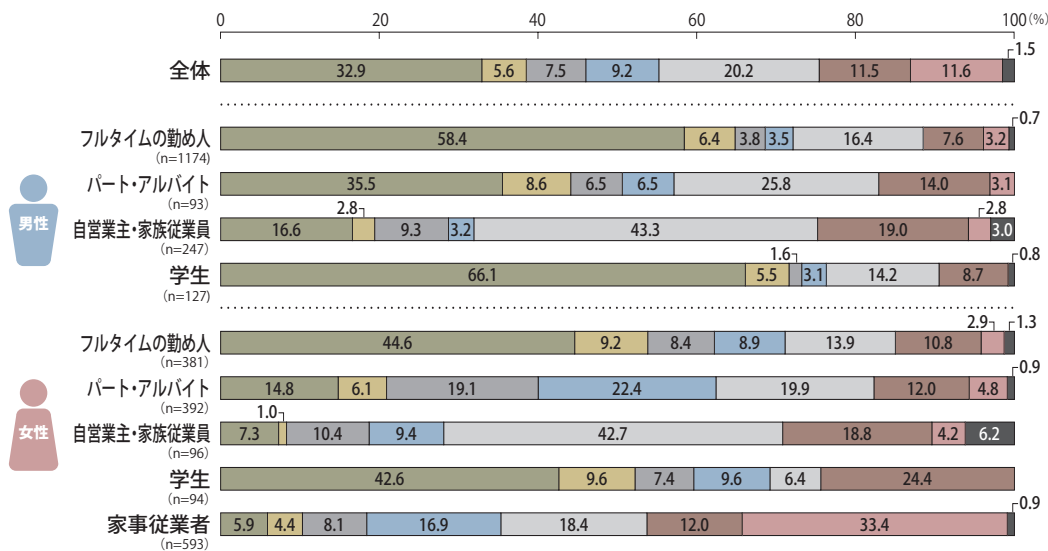
10年後、あなたはどのような働き方をしたいですか。



現在収入のある仕事をしていない回答者も含め、「10年後にどのような働き方をしたいか」を尋ねた結果では、「収入のある仕事をするつもりはない」は約1割にとどまり、「何らかの形で仕事をしてほしい」と考えている回答者が多いことが示された。女性では、希望する働き方に多様性があることも注目される。

「フルタイムで週5日の勤務」を希望した回答者は全体の約3割。これに「フルタイムで週2~3日」「1日の労働時間が短く、週5日」「1日の労働時間が短く、週2~3日」「労働時間・日数にしばられない勤務」「仕事をしたいが、労働時間には特にこだわらない」といった多様な働き方を希望する回答者を合わせると、「何らかの形で仕事をしてほしい」と考える回答者の割合は、9割近くになる。男性の方が「フルタイム」希望の割合が高く、若い年代ほど、「フルタイム」「何らかの形で」ともに多いが、60代前半でも約6割が10年後も働き続けることを希望している。女性では、どの年代でも「1日の労働時間が短く週5日の勤務」「週2~3日の勤務」など、多様な働き方が希望されている。

現在と異なる形での働き方の希望も

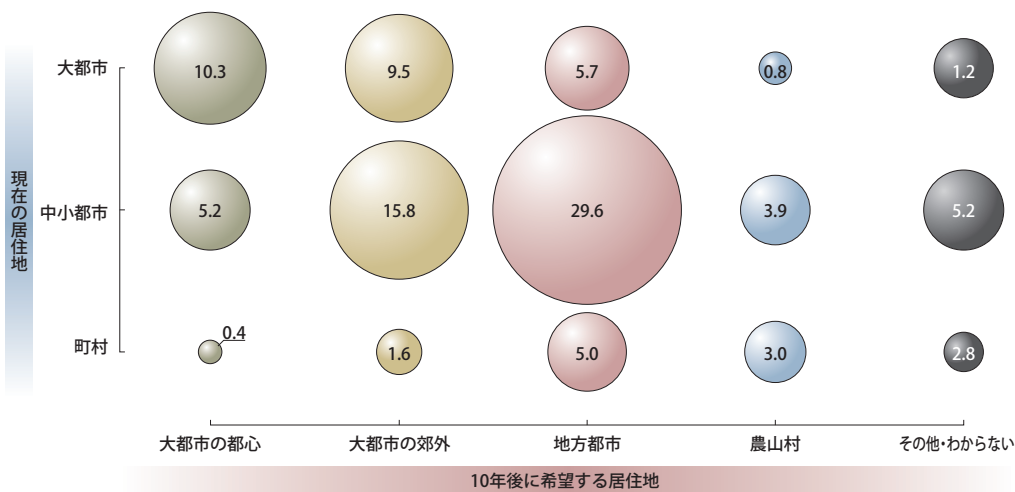


職業別では、現在フルタイムで働いている男性の約3割、女性の約4割が別の形での働き方を希望しており、反対に、パート・アルバイトでは男性で36%、女性で15%がフルタイムでの勤務を希望している。学生では男性は7割弱がフルタイムを希望しているのに対し、女性では半数に満たず、働き方の希望に違いが見られた。

希望する働き方

10年後に住んでいたい地域

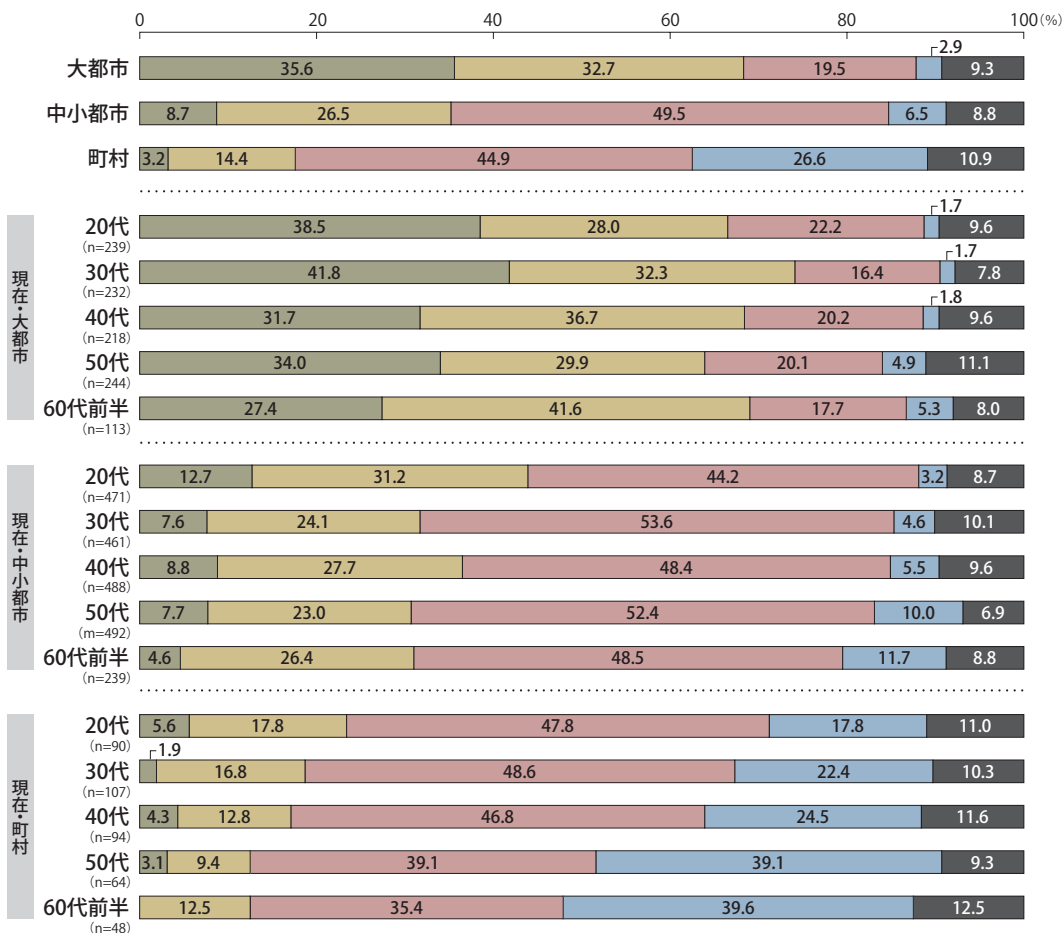
10年後、あなたはどのような地域に住んでいたいですか。



- 大都市の都心
- 大都市の郊外
- 地方都市
- 農山村
- その他・わからない

「10年後にどのような地域に住んでいたいか」を尋ねたところ、「地方都市」が最も多く全体の約4割を占め、これに「大都市の郊外」「大都市の都心」「農山村」と続く結果となった。現在の居住地と照らし合わせてみると、「大都市」に住む回答者は「大都市の都心」を、「中小都市」に住む回答者は「地方都市」や「大都市の郊外」を、というように、基本的には現在の居住地に似た居住環境が志向されている。

若い年代ほど都市志向



現在の居住地ごとに年代間の比較をすると、「大都市」居住者では年代間の差が大きいのにに対し、「町村」居住者では若い年代の「都市」志向、年代が上の層の「農山村」志向が明らかとなっている。現在他の地域に住む回答者でも若い年代で「農山村」を希望する割合は高くはないことから、「農山村」のさらなる高齢化が予測される結果となった。

希望する居住地